

S
H
I
M
A
B
A
R
A

雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業

ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原

「来て、見て、共に感じてほしい。島原の熱き復興の鼓動を」

2000年10月28^(土) ▶ 29^(日) 会場 / 中心市街地・島原文化会館
入場無料



- 主催 / ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原実行委員会
- 後援 / 長崎県・島原市・島原市教育委員会・島原市社会福祉協議会・島原商工会議所・島原温泉観光協会
島原温泉旅館組合・島原鉄道・長崎県住宅建築総合センター・共同通信社・時事通信社・長崎新聞社
西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・日本経済新聞社・島原新聞社・しまばら通信
NHK長崎放送局・NBC・KTN・NCC・NIB・FM長崎・かぼちゃCA-TV (順不同)

同 / 時 / 開 / 催

- 第1回全国災害救援ボランティア全国大会 / 島原文化会館・他
- GAMADASまちづくり住まいづくりフェア / がまだす広場駐車場

目次

■ ながさき安全・安心まちづくりネットワークとは	1
■ 実行委員長あいさつ	2
■ 記念講演〈郡司ななえ氏〉	3
■ 盲導犬と歩こう島原	4
■ 島原湧水と歴史的木造建築物写真展〈三沢博昭氏〉	6
■ 歴史を活かしたまちづくり講演会〈後藤治氏〉	8
■ 島原湧水散策路 原画展・島原湧水スケッチ〈近藤一郎画〉	10
■ 島原ルネッサンス	12
■ 湧水トレイル	13
■ 森岳青空文化祭(秋風色の野の花展、ケナフ植栽、乱舞龍)	14
■ ロマンの風 青い理髪館オープン	16
■ 九州エコ・サミット、エコ・ステーション	18
■ イベントマップ	20
■ 子供とまちづくりシンポジウム・ミニコンサート	22
■ 高齢者向け住宅改造見学会〈Y邸〉	24
■ 高齢者・障害者用モデルトイレ体験会	24
■ 青空コンサート〈一・二中プラスバンド〉	25
■ 夜なべ談義(4ヶ所)	26
■ GAMADAS まちづくり住まいづくりフェア 協賛イベント	28
■ 第1回全国災害救援ボランティア全国大会 協賛イベント	30
■ ギネス大会スペシャル 協賛イベント	32
■ みなとみちガレッジセール 協賛イベント	33
■ スナップ写真	34
■ 新聞記事紹介	36
■ パネル展示	38
■ 福祉マップ	39
■ まとめ	40
■ 参加団体紹介・実行委員会名簿	41

ながさき安全・安心
まちづくりネットワーク
って、何だろう？



長崎県 土木部住宅課
課長 左海 冬彦

このパンフレットを見て、「安全・安心まちづくりネットワーク」っていったい何だろう、島原とどういう関係があるのだろうとお思いになった方も多いと思います。雲仙普賢岳災害から10年が経過した島原では、数多くのボランティア団体が活動しており、それぞれの立場から島原の街づくり、人づくり、活性化等に取り組んでおられます。もともと、島原は古い城下町として、島原半島経済の中心として、豊かな歴史・文化・自然に恵まれた地域ですが、10年前の未曾有の災害は、それまでは穏やかでのんびりした島原の人々の意識を凶らずも覚醒させて、全国的にも珍しいほどボランティア意識に富んだ多くの人材を作り出す契機になったのではないかと思います。

今回のイベントは、実行委員長宮崎和子さんのリーダーシップのもと、島原で普段は商店街や役所、建築士、郷土史家、お母さん、お父さんなど、さまざま仕事や生活をしている人々が、日頃からいろいろな「まちづくり」活動に取り組んできた成果を、イベントの中で自由に表現する機会となったのではないかと思います。そういう意味で「様々なボランティア団体による島原の元気を全国・県内に情報発信するイベント」と表現したら、今回のイベントのわかりやすい説明になるのではないかと思います。

実にさまざまなイベントが10月28日(土)・29日(日)に島原中心部を舞台に同時多発的に開催されましたので、そのすべてに参加できた方は少ないと思いますが、この小冊子を見て頂ければ、どなたにも、その多彩な全貌がおわかりいただけると思います。県住宅課では、島原振興局、島原市役所や地元の建築業界や商店街の方々と、毎年10月に国光屋跡地を会場に住宅フェアを開催してきた経緯があり、その延長で県・市ともに今回のイベントを積極的に応援しました。いろんな人との出会いがあり、島原の魅力を再認識できる素晴らしいイベントに参加できたことを大変感謝しております。イベントに関わった皆様(多すぎて名前をすべて挙げられません!)、本当にありがとうございました。





実行委員長
宮崎 和子

ごあいさつ

ながさき安全・安心まちづくりネットワーク

in 島原実行委員会

実行委員長 宮崎 和子

普賢岳噴火災害から十年、ようやく復興の形が見えてきた島原を全国にアピールし、これまでご支援頂いたお礼と、その後、各地で起きた災害に苦しんでいる方々への励ましのメッセージにと、島原ではこの一年間「がまだす」を合言葉にさまざまな企画、行事が展開されてきました。

その一環として、私たちは復興と共に、被災前よりもっと素敵なまち、もっと「安全で安心なまちづくり」を目指して、ボランティア団体、企業、行政などの力を一つにしたイベント“ながさき安全・安心まちづくり in 島原”を企画しました。

今回の企画では、災害からの復興に伴う、これからの「まちづくり」のあるべき姿を求めて、日頃から活動している各団体、グループが、それぞれの企画を持ち寄り、「水と歴史を活かした景観」「バリアフリー」「商店街活性化」「エコロジー」など、様々な視点から「まち」を見直し、これからの「まちづくり」の指針としたい。そして、理想のまちづくりに取り組んでいる「元気になった島原」の情報を、全国へ向け発信しようという意気込みで、このイベントを推進してまいりました。

こうした私達の熱意と呼びかけに応えた、それぞれの分野のエキスパートに、参画、ご助言を頂いたのは有難いことでした。特に三沢博昭氏には、度々ご来島いただき、写真家としての鋭い視線が捕らえた沢山の映像により、これまで見過ごしがちだった”島原の良さ”を再認識することが出来ました。

遠路、ご参加頂いた講師の先生方、イベントにご協力いただいた市民ボランティアの皆様、そしてご後援の各団体への感謝と共に、今大会の成果が、これからの島原のまちづくりに大きな力となることを願いつつ、この報告書をお届け致します。



● オープニングは島原駅からスタートしました



● オープニングを飾る乱舞籠も見事でした

記念講演 「盲導犬と拓いた私の世界」

講師 郡司 ななえ 氏

日 時 / 平成12年10月29日(日) PM1:00~

会 場 / 島原文化会館 大ホール



● 語りかけるように、お話しされる郡司さんとベルナ

27歳で失明した犬嫌いの女性が、盲導犬とパートナーを組んで子育てをしていく決心をしました。でもその盲導犬ベルナは、途中で目が見えなくなったのです……。

郡司さんはパートナーとしてだけではなく、愛息・幹太君のお姉さんとして生きてきたベルナと悲しみも喜びも分かちあい、視覚障害者での不自由な生活を拓いて行くのでした。

郡司さんのお話に、会場の聴衆は身じろぎもせず聞き入っており、人の持つやさしさを振り返り、取り戻し、その後に行なわれた「盲導犬と歩こう島原」へと参加していくのでした……。

郡司 ななえ氏 プロフィール



新潟県高田市(現・上越市)生まれ。パーチェット病により27歳で失明。現在、東京都墨田区でハリ・マッサージ治療室を営むかわら、視覚障害者や盲導犬への理解を広く訴えるため、著作・講演活動をつづけている。「様々な人間がいっしょに生きていける社会」をより多くの人々と考えようという主旨で「ベルナのお話の会」を主宰。全国の幼稚園、小中学校、地域団体等で270回を超える講演を行なっている。著書に、「ベルナのしっぽ」(イーストプレス社)絵本「ベルナの目はななえさんの目」(共作/童心社刊)、児童書「こんにちは!盲導犬ベルナ」(ハート出版刊)がある。日本盲人作家クラブ同人。



お母さんになりたい……。27歳で失明した著者がそう決意したとき、盲導犬ベルナと共に歩む日々が始まる。ひとりの息子・幹太君の出産、子育て。喜びも悲しみも、すべてをベルナと語りあい、分かちあう。愛にみちた13年の歳月を書き下ろした感動の盲導犬物語。



島原に

『ベルナのしっぽ』の作者がやって来る。

—私の娘は盲導犬—



盲導犬と歩こう 島原

日時／10月29日PM2:00～
会場／島原文化会館スタート

盲導犬12頭と200名のボランティア参加

長崎県内外から訪れた盲導犬12頭と視覚障害者(ユーザー)、白杖の方や車イス利用者などがそれぞれの立場で『身体に障害を持たれた人と一緒に島原市内を歩こう』の企画を計画しました。バリアフリーをひとつのテーマに、誰にでも優しい街島原を目指して地元島原の高校生(商業高校・農業高校・中央高校)の観光案内や一般ボランティアの誘導協力者を含めて約200の方が参加がありました。出発式でのネットワーク in 島原委員長の宮崎和子さんの参加者に対するお礼の挨拶があり、天候も歩くのには、ちょうどよい気候で、島原文化会館からアーケードを通りながらの中央公園まで1.5キロのコース楽しくスタートしました。野の花で飾られた森岳商店街や住宅フェアや中央公園でのコンサートなどの多彩なイベントが同時開催されて、ネットワークの意義が十分に生かされたと思います。また、この催しによって島原温泉旅館組合での盲導犬の同伴宿泊の受け入れがなされることになり、今後、全国的な展開のきっかけになればと期待されています。



県外の参加者や高校生ボランティアなど沢山の人が一緒に歩きました



文化会館をスタートして中央公園までおよそ一五キロを街の点検をしながら歩きました。

ガイアの独り言



私は島原半島唯一の盲導犬です。名前はガイア。大地の女神という意味です。ラブラドルレトリバーで、毛色はイエロー5歳のメス犬です。ご主人の名前は、吉田芳雄さん。今回のイベントの種をまいた人です。今回のイベントでは、私達盲導犬でも数多くの出会いがありました。実際の兄弟犬同士、そして、同じ共同訓練を行なった同窓生ワンちゃん。お世話になった飼育ボランティアの先生の方の再会などです。私の家族は大好きだからといって家族ぐるみで参加して下さった人達、小学校の子供と一緒に参加されたお母さんやお父さん、ありがとう。お忙しかった中に参加下さったボランティアの人達、ありがとう。

さて、ご主人を安全に誘導するものも当然の仕事です。しかし、島原市内は、まだまだ危険なところがあります。そんなところを指摘するのも仕事のひとつです。また種を巻けば、それを育てるりっぱな土壤があることにも気づかされました。そして、なによりも元気になった島原を全国に発信できたことを主人と共に喜んでます。また、今回のイベントにあたり、事前にコースを調査して下さいました高校生の皆さんや担当の先生や一般のボランティアや福祉・療養センター職員の方や道路管理の方や商工関係の方の皆さん多くの協力がなければ出来なかったことでしょう。大変ありがとうございましたワン!

盲導犬の接し方

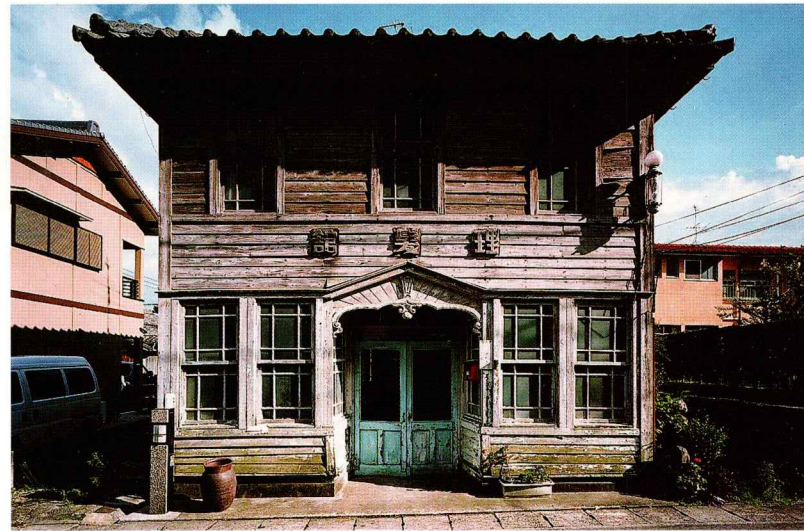
- 1 声をかけたり、さわったりしない。
 - 2 ハーネスにさわらない。
 - 3 食べ物をあげない。
 - 4 いやがることをしない。
- 盲導犬はユーザーの方を安全に目的地は運ぶことが仕事です。この四つのお願いを聞いていただけないと本来の仕事が出来ず、大変危険です。からお願いします。



島原の湧水と歴史的木造建築物写真展

日時 / 10月28・29日
AM10:00～
会場 / 島原駅舎
2F展示場

建築写真家
三沢博昭写真展



●解説:松尾卓次
●後援:(財)長崎県住宅・建築総合センター

島原の湧水群は、古くから人々の生活の中で、庭園や洗い場、社寺の境内などに自然な形で取り入れられて、島原独特の風景やたたずまいを生み出してきました。また、島原半島の中心地として栄えてきた歴史を反映して、伝統を担ってきた棟梁、大工に手がけられた数多くの町家、洋館などの調和した木造建築物が今でも市街地に残されており、その中には、湧水と調和をしたみごとなデザインのものも見られます。これまで、普段注目される機会は少なかったものの、最近の森岳商店街の「理髪館」修復などに見られるように、こうした古くからの歴史的資産の持つ魅力や価値に、今多くの人が気づきはじめています。写真は、すべて、長崎の洋館や教会建築をはじめ全国各地の文化遺産の撮影で全国的に活躍する東京在住の建築写真家三沢博昭氏が、この夏から秋にかけて二度にわたる数週間の滞在で、精力的に撮影をしていただいたものです。

あなたは、すべての撮影箇所の所在地をご存知でしょうか。島原市で生まれ育った方にも、きっと新しい発見があるはずです。



●会場には沢山の方が来場されました

三沢博昭氏プロフィール

昭和19年(1944年)北海道生まれ
武蔵工業大学建築学科卒業
三沢建築写真事務所代表
武蔵工業大学建築学科非常勤講師土木を撮る会代表
歴史的な建築・街並み・土木構造物・遺跡など
主なテーマとして、日本、世界各地を広く撮影。
1999年
「土木造形家百年の仕事」
土木学会賞(出版分化賞)受賞
2000年夏
長年のライフワークのひとつ
「大いなる遺産 長崎の教会」を出版



パンフレット〈抜粋〉

<p>1 白土町街並み 白土町</p> <p>ここは江戸以前から開かれた町人地。寛政の大変で崩壊土砂に埋め尽くされたが見事に復旧して、大商家が軒を並べていた。城下町の南端にあたり、島原街道が通り、南目への重要な通路になっていた。</p>	<p>6 猪原金物店 上の町</p> <p>長崎、大阪、江戸に通じる島原街道に面するこの地に明治2年に開業した金物店。店主は町家と街並み保存に力動的で、この家も建築当初のように修復し、湧水を活用した連立川も生み出した。</p>
<p>2 山崎邸(旧儀屋) 白土町</p> <p>依屋は藩政時代には依物を扱う豪商で、この建物も古い。今は、山崎酒造の事務所・自宅となっている。向かいにある旧ライオンズクラブ(旧小松屋)には、昔山崎家の本家があったが、今は使われていない。</p>	<p>7 絃燈舎 上の町</p> <p>大正8年に建てられた元福武商科病院を建築当時を復元して、今は和楽器店として活用されており、2Fにはギャラリーがある。小ぶりであるが、大正期の町家の雰囲気よく伝える魅力的な建物である。</p>
<p>3 旧ライオンズクラブ(旧小松屋) 白土町</p> <p>小松屋の屋号を持つ山崎家は藩政時代から続く酒造場。近くの豊かな湧水を利用して島原唯一の造り酒屋さん。弘化3年(1846年)築の家屋や蔵が残る。有楽町には「小松屋新田」の名の付く地がある。</p>	<p>8 保里川邸(旧平戸屋) 上の町</p> <p>旧平戸屋・保里川邸は藩政時代から続く大型町家。建築後150年以上にもなる。2階に旅館もあって、幕末には吉田松陰も宿泊したという。屋内は当時のままで、欄をデザインした透かしは見事である。</p>
<p>4 本田邸(旧坂屋) 白土町</p> <p>堀原本田家も藩政時代から続く旧家。酒造場など手広く商業活動を営んでいた。内部にはたたきの上間、帳場、座敷と表庭など色々町人の暮らしが感じられる。座敷欄間の東海道の情景の彫り物が見事。</p>	<p>9 中野金物店 上の町</p> <p>ここには島原町家唯一のレンガの「うだつ」がある。明治から大正期に西洋建築技術が島原にも伝わり、当時珍しかったレンガ造りで覆われている。島原では、「うだつの上」の家である。</p>
<p>5 上の町街並み 上の町・森岳商店街</p> <p>築城時に開かれた城下町の一つ。藩政時代に島原街道が通り、人と物の往来が多かった。旅館や酒造場、木綿問屋が集まっていた。大正2年に駅が開業すると、北の玄関としてまた非常に賑わった。</p>	<p>10 酒蔵煙突 上の町</p> <p>明治38年宮崎酒造場が開業し、このときレンガ造りの煙突や酒蔵が造られた。円筒形のレンガ煙突は非常に珍しい。1世紀近く風雪に耐えながらも、島原城下町の移り変わりを築いてきた。</p>

<p>11 宮崎邸 城内一丁目</p> <p>宮崎家は明治後期に「温泉堂」を開業した。当時珍しかった石油販売、煙草製造や木綿織物で業績を伸ばした。ここは、旧島原藩中老・板倉左近衛殿で、引き継ぎ宮崎家が増築を構えた。</p>	<p>16 しまはら</p>
<p>12 田三村邸(しまはら湧水館) 新町二丁目</p> <p>大正初年の建築で120坪の敷地に60坪の家屋が建つ。派手さは無いが、選ばれた材料を使った立派な木造建築で、三村家から平成8年に島原市土地開発公社が購入後、湧水資料館として公開している。</p>	<p>17 長池</p>
<p>13 松尾邸 中組町</p> <p>島原大変後、新しく生まれた島原藩には、各地から人が集まり開発された。松尾家はその頃から続く海運業者で明治になるという早く汽車を導入した。藩が栄えていた頃の豊かな船問屋の面影を残す。</p>	<p>18 小早</p>
<p>14 小鉢邸 札の元町</p> <p>水無川は氾濫が多く、防備のため安中地区では屋敷の周りの堅固な石垣が発達した。明治以降、見事な亀甲積みが発達し、元は酒造場で肥料問屋となった小鉢邸は約100年前の貴重な姿をとどめている。</p>	<p>19 理髪</p>
<p>15 伊東邸 新町二丁目</p> <p>大手にあった伊東病院の別邸「西明荘」として、街中に大正初め建築された。東側の縁側が透明な池に張り出し、町家、池、庭が一体となって見事な空間を作る。島原の代表的な「水垣敷」である。</p>	<p>20 喜多</p>

歴史を活かした まちづくり講演会

講師 後藤 治 氏

日時 / 平成12年10月28日 PM5:30~PM7:00

会場 / 霊丘公民館(3F大ホール)

演題 「歴史的資産を活かしたまちづくり」



工学院大学 助教授
後藤 治

後藤治氏は、文化庁の文化財保存行政の第一線を経験した後、歴史的建造物の修復と保存の分野で活躍中の若手研究者です。近年、島原では、万町の水屋敷や森岳商店街の金物屋など、もともとそこにあった古い木造建築物や湧水を活かした魅力的なスポットが人気を集めています。こうした日常的に街並みに存在する歴史的な資産を活かしたまちづくりが、全国各地で注目を集めています。講演の中では、後藤治氏自身が携わって制度化された登録文化財制度や、日本国内・海外のまちづくり事例について話をうかがいましたので、抜粋して報告します。

- 歴史的な建築物を残して、個性ある街なみを維持することは文化的にも意味がある。
- 「西洋は石造りだから残り、日本は木造だから残せない」というのは、言い訳である。西洋でも木造の歴史的な建築物はたくさん残っている。
- 逆に、木造の方が、内部を改築しやすく、柔軟性があるので残しやすい。
- 内部を現代のライフスタイルに合わせて改造して使い続けていくことが可能なので、そういう工夫が必要。
- 地元に住んでいる人が主体的にやったほうがよく、役所がやるのではなく、役所を使って、いい街にしていくことが大切。
- 「島原を見た感想は?」という会場からの質問には、「島原は、武家屋敷跡に、ほぼ完全な形で町並みが残っており、それで満足してしまっているのかも。武家屋敷跡以外にも、たくさんのいいものが残っており、素晴らしい。逆に、残りすぎているから住民の意識がもうひとつ高まらないのかもしれない。」という、光榮な意見を頂くと共に島原について知らなすぎることに反省させられました。



まちづくりだってみんな異なってる。みんなの歴史があるように。



● 各々の街の特徴とも言える建物や歴史的価値をいかに地域の財産として活かしていくのか、これからの問われる



● 沢山の人が熱心にまちづくりの話を楽しみました

講師 プロフィール

後藤 治 (ごとう おさむ)

1960年東京都生まれ。工学院大学建築都市デザイン学科助教授。工学博士。専門は日本建築史、歴史的建築物の保存修復。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程中退、文化庁文化財保護部建造物課文化財調査官を経て現職。主な著書に、「建物の見方・しらべ方」(共編著、ぎょうせい)、「文化協力における民族と国家」(共著、共同研究開発機構)、「四国の住まい」(INAX)等。



● 各地に於けるこれまでの例を聞きながら、我が街を構想する

島原湧水散策路 原画展

近藤一郎 画

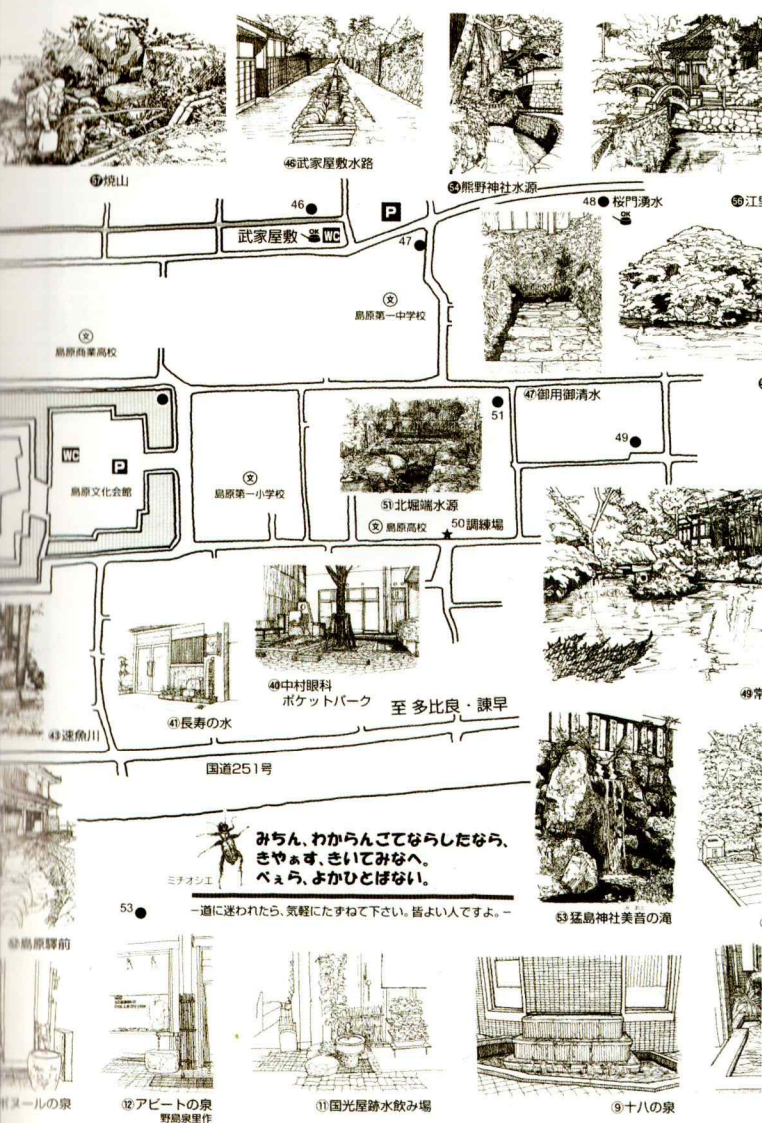
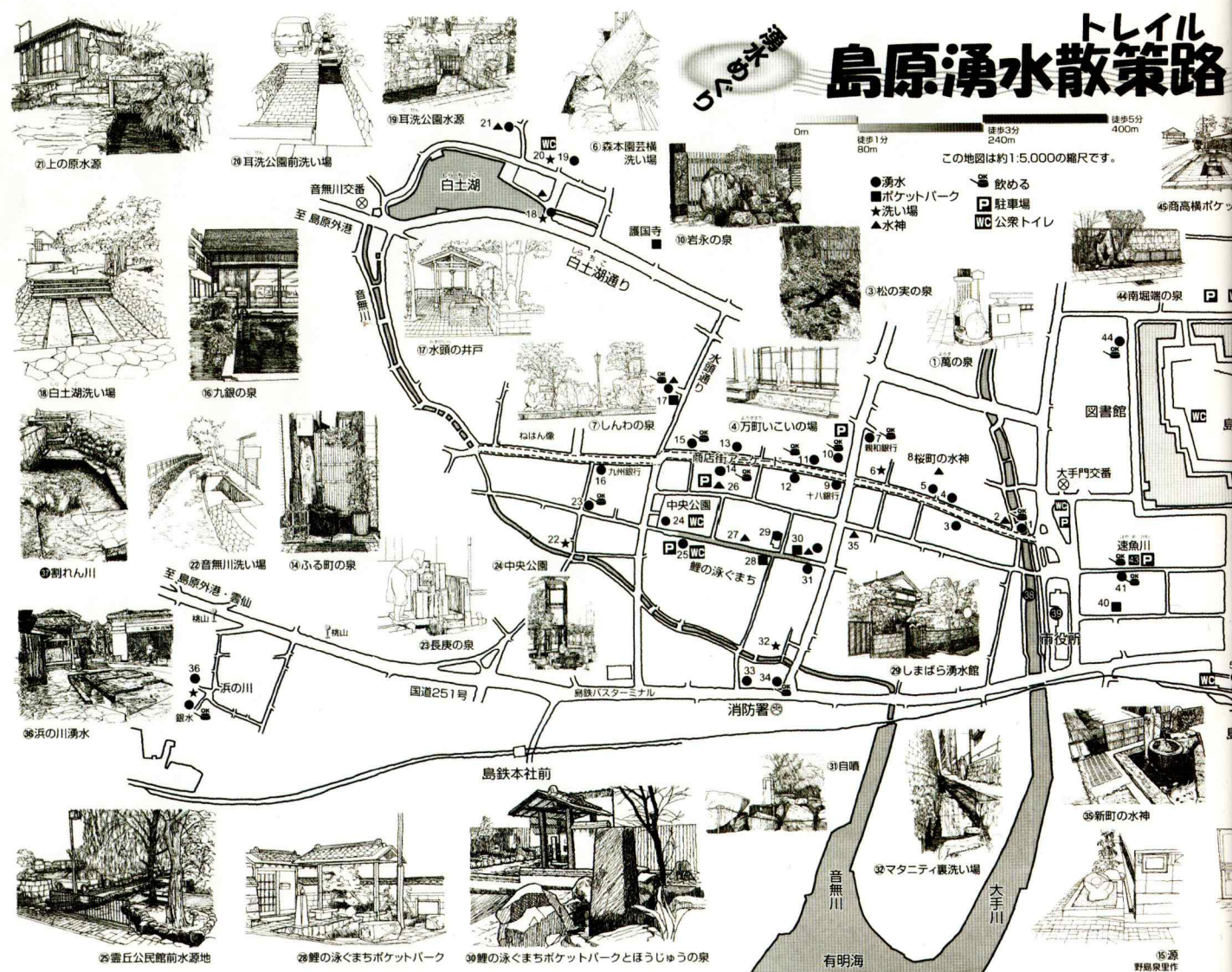
日時 / 平成12年10月25日~11月5日 (AM10:00~PM5:00)

会場 / しまばら湧水館

環境庁が指定した「日本名水百選」の一つ、島原湧水群。今日では島原の顔とも言うべき、地域を象徴するものとなっています。ここ数年、様々な湧水を活かした施設が次々と作られ、いままではこれらの湧水を求めて日本中から人々が訪れています。市内には60ヶ所程度の湧水地があり、それらは新しい湧水の施設ばかりでなく、島原の歴史を受け継ぎ、自然環境のすばらしさを伝えるものがあります。

そして今回、秋の観光シーズンに、住民や訪問客に水や湧水、地下水に関心をもってもらい、水による地域活性化の情報発信を目的として、観光客やまちづくりの仲間へ人気のある湧水地のスケッチ原画展を開催することができました。原画は「湧水トレイル」や「湧水絵はがき」でおなじみの建築家近藤一郎氏(東京都在住)による島原の湧水地です。

- 展示内容
- トレイルのスケッチ着色の作品(額装210×150) 60点
 - 湧水のメカニズム説明パネル 1枚
 - 島原石と島原のミネラルウォーター等の展示
 - 湧水関係の写真 10点
 - 湧水マップ・パネル 1枚



日本礼道小笠原流煎茶島原支部の皆様のご協力により湧水原画展の開催と並行して土曜日・日曜日の両日、島原名水で茶会のもてなしがありました。

原画をご覧になった後で、ゆっくりとお茶の接待で来館された大勢の人達に満足頂けたと思っています。

湧水は生活用水でもあります



武家屋敷の水路も昔のままに



観光客も湧水の多さにビックリ



島原湧水散策路原画展
 建築家 近藤一郎 画
 '2000
 10月25日(水)~11月5日(日)
 AM10:00~PM5:00 (入場無料)
 会場 / しまばら湧水館 (豊の泳くまち)

清心な癒しの気持ちをはぐくむ、しまばらの湧水。風景がさわやかに絵になりました。

10月28日(土)・29日(日)
 日本礼道小笠原流煎茶 島原支部
 主催 / ながさき安全・安心まちづくりネットワーク島原実行委員会 TEL 0857-63-5589 (島原商工会・建設局)

「島原湧水絵ハガキ」

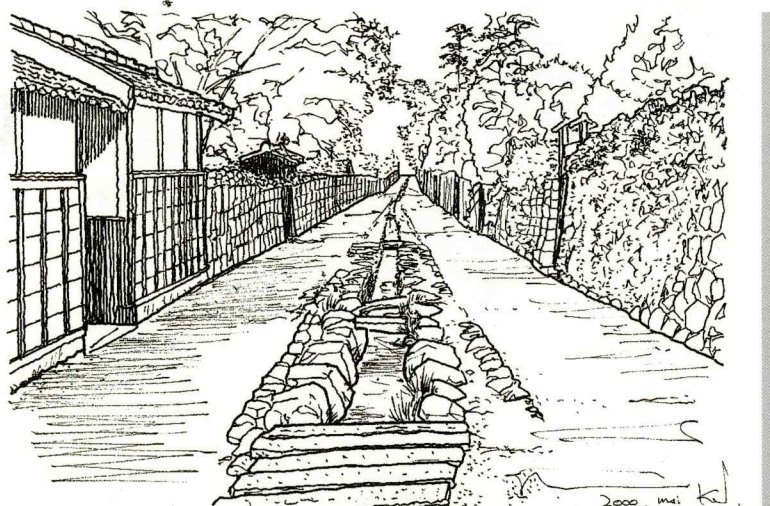
の発行について。

島原市には、環境庁が指定した「日本名水百選」の一つ島原湧水群があり、これらは全国に誇れる自然環境資源となっています。市内には60ヶ所程度の湧水地がありますが、これらは誰が維持し保全するのでしょうか。ただ見ているだけでは、日本中が注目する湧水とはいえ、衰退したり枯渇してしまうとの思いから、私ども地域住民として、げんごろう倶楽部は活動をはじめました。

会の目的は、島原の湧水の保全・水文化の継承・水による地域活性化・情報発信などです。

このたび、建築家近藤一郎氏の協力のもとで、人気のある湧水地の絵ハガキ8枚組みを作成して発行しました。

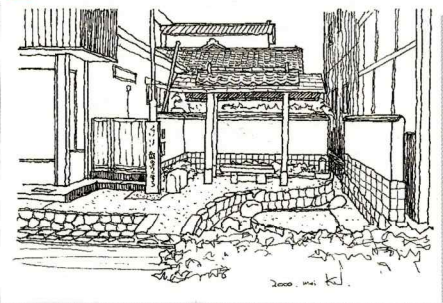
島原の小さな「水の案内人」として、全国を郵便物として飛び回ってくれることを期待しています。



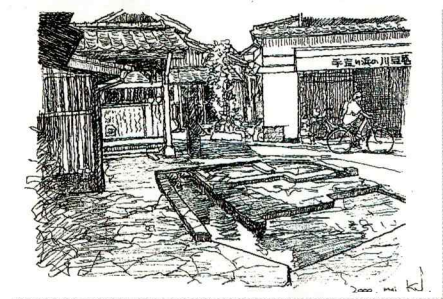
1



2



3



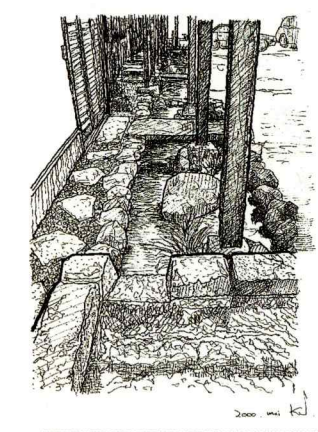
4



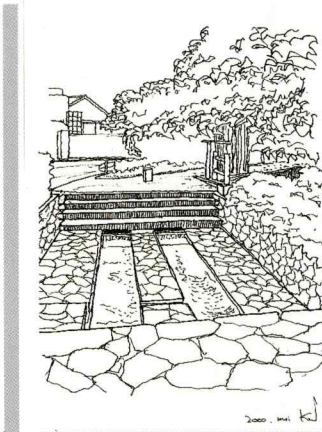
5

絵ハガキの内容

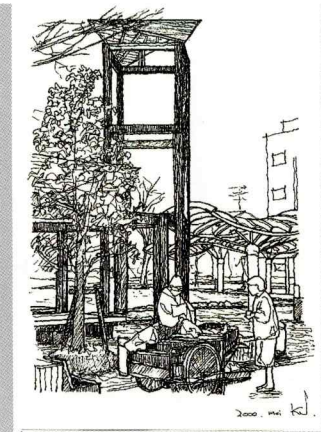
- 1 武家屋敷水路**
島原城の西、武家屋敷の水路には300年の時をこえて今も湧水が流れています。
- 2 江里神社**
島原市杉谷地区にある由緒ある神社。雲仙岳の伏流水が湧き出ています。
- 3 鯉の泳ぐまち**
新町の昔からあった湧水路に市民が鯉を放流して生まれた名所です。色とりどりのかわいい鯉が迎えてくれます。
- 4 浜の川湧水**
島原市湧水群の名所。共同洗い場には今も生活が息づき、地域のコミュニケーションの核となっています。
- 5 常盤御茶屋跡**
江戸時代殿様の別邸につくられた庭。いまもこんこんと湧水があふれ、有形民俗文化財の「置石(せり)」も残っています。
- 6 中央公園**
島原石と郷土の植物を集めたたのしい空間。不思議な水路や芝生で遊ぶ、湧水と親しめる公園です。
- 7 速魚川**
島山(昔)の伏流水が地下110mより毎分150ℓ自噴しており、その湧水を利用し完成した川。ピオトープの流れが、訪れる人の心をなごませてくれます。
- 8 白土湖洗い場**
寛政の島原大変(西暦1792年)によって生まれた白土湖には石畳づくりの共同洗い場があります。



6



7



8

島原ルネッサンス

日時／平成12年10月28日・29日
会場／島原駅2階展示ホール

島原における、建築物と修景物との融合が醸し出す、古くて新しいバランス、建築物を更に活かす彫刻群等を写真パネルで紹介。

これからの新しい”まちづくり”の一方向を模索し、将来的には、まちづくり・ものづくりを通して、文化・芸術の情報発信基地としての島原を築く試金石とする。

同時に、野島泉里氏(島原出身・彫刻家の造形作品、書家・長谷川華遊氏の前衛書による会場表現と同調した”野の花展・お茶席”により、新たな幽玄の世界を打ち出した。



●お絵書きパフォーマンスに恐る恐るの筆はこび



●2日間限りではもったいないディスプレイです



●ゆったりとした空間の中で、いただくお茶は格別です

森岳青空文化祭

森岳商店街

日時／平成12年10月28日・29日

会場／森岳商店街一帯



森岳商店街のコンセプト(共通目標)は、「心ゆたかな時間を過ごせる街」です。

雲仙普賢岳の噴火災害を契機に、森岳商店街は、さびれゆく街をなんとかしよう自分たちに出来る小さな事業を積み重ねてきました。そして少しずつ元気を取り戻しつつあります。

このたびの魅力あるさまざまなイベントを結びつけるために、森岳の街は面としての広がりを見せてくれました。そしてそこで多くの人たちの出会いを演出してくれました。

● 野の花に誘われて……

「秋風色の野の花展」と野の花の街、一差しの野の花に込めた「もてなし」の心は店内から店先へ、店先から表通りへ、そして街全体に広がっています。

普段から商店街の婦人たちが中心となって街に野の花が飾られます。今回は島原駅・酒蔵・絃燈舎・吉川邸をメイン会場として花滴庵(主宰:早稲田佳子)による「秋風色の野の花展」が訪れる人たちの目を楽しませてくれました。

森岳まちづくりのメンバーも協力して飾られた街のなかの竹による野の花の演出は「手づくり」の良さが話題になりました。三々五々街のなかを散策する人たちのおだやかな表情を見ると「心ゆたかな時間を過ごせる街」に近づいてきた実感がありますね。



●森岳の街中をかざる野の花



●吉川邸玄関の野の花ディスプレイ



●島原駅2階会場野の花展



●島原駅にて乱舞龍がオープニングをかざる

● 江迎町乱舞龍!見参

江迎町と森岳は古くから街のストックを活かす「まちづくり」の手法が同じ方向ということで、交流を続けておりました。

江迎町のエネルギーの象徴のような乱舞龍の踊り、すごかったですね。雨をふっ飛ばして、かっこよかったです。

どちらかという森岳の「静」なる演出に強烈な「動」がインパクトを与えてくれて、盛り上がりました。



ロマンの風 青い理髪館 オープン!

日時 / 10月28日 AM11:45~
会場 / 島原市上の町



これからの
街づくりの象徴

まちづくりの二つの手法があるとしたら一つは、スクラップ&ビルドに代表される方法。一つは、既存の素材を歴史ごと地域(の人)ごと活用していくやり方。

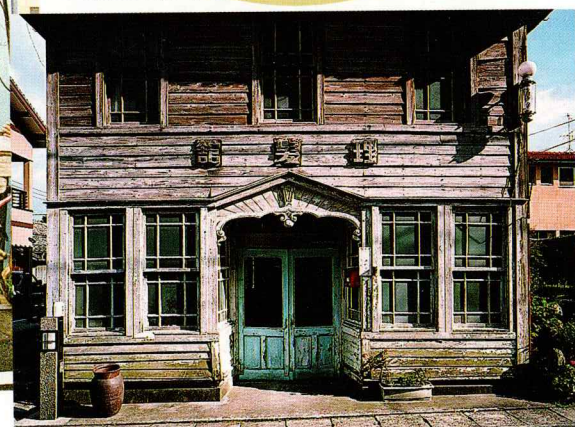
雲仙災害復興が、郊外型・箱物優先のハード事業に偏っているように見え、ともすると、中心街の活性化という大切な側面を忘れていているように見えるのは、前者は見えやすく後者は見えにくいからでしょう。

古い街並みを活用しよう。歴史を大切にしよう。人々の生活を大事にしよう。こうした重要な「まちづくりの要素」を盛り込んだのが今回の「安全・安心まちづくりネットワークイベント」であり、まさにその象徴的存在が「青い理髪館」です。「理髪館」の写真がポスターになった所似であります。

このたびの事業が「雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業」となった真骨頂は、県も市も、復興はハード型の大型プロジェクトだけでは「まちづくり」は成されないという認

●新しく化粧直しして、生まれかわった理髪館。用途は2階ギャラリーと1階道案内所・喫茶室。屋号がそのまま残っているので、床屋のお客さんも来るとか。

●改装直前の理髪館



●身障者対応トイレも新設しました



●窓の上げ下げは昔のままに修理しました



●当時のままに椅子もドーンと置いてあります(1F)

識から、ソフト型の人的プロジェクトを重視した点であります。

目先の便利さ(合理性)とひきかえに、私たちが捨ててきた過去は、本当は結構いい物だったのに……いっしょに心まで捨てて来たのではありませんか。そんなメッセージの聞こえてくる青い理髪館です。

大正12年当時の「青」色に化粧なおしをして、極力そのままを再現しました。トイレだけは公衆便所として多目的型にしました。「心ゆたかな時間を過ごせる街」の拠点として2階に文化薫るギャラリー、1階は道案内コーナーと喫茶室「モモ」がオープン。

テープカットには、理髪館を守ってこられた先住者たち(期せずしておばあちゃんトリオ)が、大正時代のハサミを手にしてくれました。いつも主役の市長や局長は、理髪館の歴史に免じて、介添役にまわっていただきました。



●喫茶・観光案内と狭い店内は賑やかです(1F)



●2階のギャラリーは展示や文化講座等に使用されます

九州エコ・サミット

日時／10月29日AM10:00～
会場／島原文化会館



「森岳まちづくりの会の試み」

東京早稲田のエコステーションをきっかけに全国で約30の商店街が、地域を活性化させる手段として、環境美化・ゴミ問題に取り組んでいる。

今回は、東京早稲田をはじめ、北九州若松・大分県別府・佐賀京町・熊本城見町の九州のエコ・リサイクル商店街の先進地といわれる4県の商店街の代表をゲストにお招きして、長崎県下ではたぶん最初の民間版エコ・リサイクル会議となった。「なぜ民間からエコ・リサイクルを考えたのか」から始まったのだが、簡単なようでなかなか奥の深い問題ゆえ予定時間を少々オーバーしてしまった。

今回の会議は、ゲストの方々の各地の実例を聞くことにとどまってしまうが、島原ではまだ自慢ができるようなことがないのが恥ずかしく思えた。今回のエコ・サミットをきっかけに長崎県のエコ・リサイクル先進地となれるよう、今後の更なる展開を強く望みたい議論であると確信した。



- 鮫島和夫氏 (コーディネーター)
長崎総合科学大学助教授
- 藤村洋一氏 (パネリスト)
東京早稲田商店会 エコ・ステーション事業部
- 池田立一氏 (パネリスト)
東京早稲田商店会 エコ・ステーション事業部
- 前田俊朗氏 (パネリスト)
北九州市若松本町銀座商店街

- 堀 高志氏 (パネリスト)
大分県別府市亀川商店街振興組合
- 吉田 連氏 (パネリスト)
佐賀県多久市京町商店街協同組合
- 田島親一氏 (パネリスト)
熊本県熊本市城見町通り商栄会
- 小川泰一氏 (パネリスト)
長崎県島原市 森岳まちづくりの会



森岳まちづくりの会

エコステーションの試み

ゴミの無い街に

日時／10月18日～31日
会場／島原駅

九州エコサミット開催のデモンストレーションとして、10/18～10/31の2週間、島原駅売店に、空き缶回収機を設置した。

一日平均約500個の空き缶を回収。休日には800個を越えることもあり、市民には大好評。特に子供たちの中には、道端に落ちている空き缶を拾ってきてくれることも多く、小学校から駅までの通りから空き缶が無くなるという現象もあった。

利用した市民の声を聞くと「たいへんよく考えられた機械で感心した」

「町がきれいになって、おまけにラッキーチケットをもらえるなんて!」

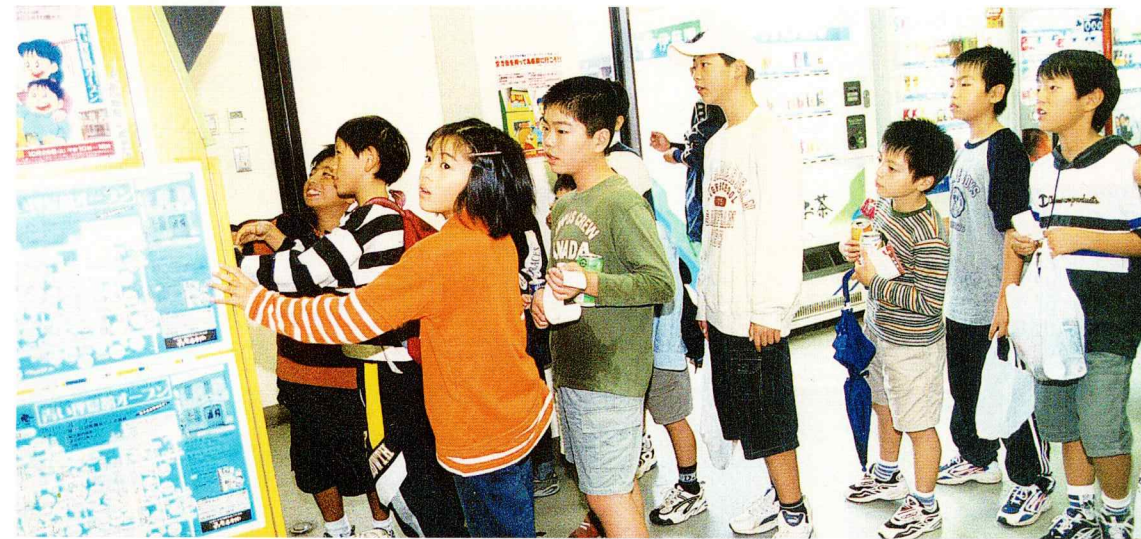
「2週間だけなのがさみしい」

「ずっと、あればいいのに」などの常設を望む声が多く、今後の検討課題と考えられる。

今はまだ、市民にとって意識の低いゴミ問題であるが、せっかく火のついた環境美化・資源再生の大切さをこれからも啓発・推進していかなければならないことを再確認できた。



空き缶を入れるとゲームがはじまり、当たればラッキーチケットがもらえます。
(お楽しみ景品など) 楽しみながら街をきれいにしようという試みです。



● たくさんの子供たちが袋一杯の空き缶を拾って来て、ゲームに夢中になりました。

全国災害救援ボランティア全国大会 ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原 GAMADASまちづくり住まいづくりフェア イベントガイドマップ 2000年10月28・29日



雲仙・普賢岳噴火10年復興記念事業

GAMADAS住宅フェア

●10/28(土)・29(日) AM10:00~

- 国産住宅用品展示
- DIYワークショップ
- 棟上げ・夜鍋談義(28)

子供とまちづくりシンポジウム

●10/28(土) PM1:00~

- 親和銀行島原支店2F
- 子供とまちづくりシンポジウム
- コンサート

ギネス大会スベ

●10/28(土) 一番街アーケード

湧水トレイル

●10/28(土)・29(日) 湧水館スタート

まちづくり講演会

●10/28(土) PM5:30~

- 霊丘公民館
- 後藤 治氏

記念植樹と視察

●10/29(日) AM9:00~

- 千本木一号砂防ダム植樹
- 視察コース(まゆやまロード砂防ダム)
- 大野木場情報センター・旧大野木場小学校
- みずなし本陣(遺構公園)・地ビール館(昼食)

高齢者向け住宅改修見学会

●10/28(土)・29(日) PM1:30~3:30

- Y邸オープンハウス

目印ポイント

●10/28(土) AM11:45オープン

- 夜鍋談義(28)

森岳青空文化祭

●10/28(土)・29(日) 森岳商店街

- 野の花展
- 江迎乱舞
- 夜なべ談義(28)

湧水と歴史的木造建築物

●10/28(土)・29(日) 島原駅 2F

- 三沢博昭写真展
- 島原ルネッサンス
- 野の花展(茶席)
- エコステーション 10/18~31

野の花展

●10/28(土)・29(日) 島原駅舎、絃燈舎

- 酒蔵、吉川邸

全国災害救援ボランティア全国大会

●10/28(土) PM1:00~5:00

- 島原文化会館・森岳公民館
- 式典・全体会(シンポジウム)・ビデオ上映
- 分科会(7ヶ所)・防災用品展示
- パネル展・自衛隊救助機材展示
- 太鼓演奏・ソーメン流し

ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原

●10/29(日) AM10:00~

- 島原文化会館
- 記念講演/郡司ななえ氏
- 九州エコ・サミット
- パネル展

盲導犬と歩こう島原

●10/29(日) PM2:00~

- 島原文化会館スタート

夜なべ談義

●10/28(土) PM8:00~

- 速魚川・絃燈舎

子供とまちづくり シンポジウム & ミニコンサート

日時 / 10月28日
第1部 PM1:00~2:30
第2部 PM2:45~4:00
会場 / 親和銀行島原支店2F
無料託児所 / 霊丘公民館

子供とまちづくりシンポジウム

NBC "UPるTodayのいっちゃん" と一緒に島原の街づくりについてのトークショー

第1部

- パネラー 平山智子さん(三つ子の子育て中)
伊藤恵子さん(四人の子育て中)
尾崎歌子さん(マサズ本舗代表)
- 総合司会 市原隆靖さん(NBC キャスター)



市原さんを中心に展開し、三つ子のお母さんの平山さんが、就職活動をするときのエピソードを話してくれました。「子供がいる」と言うだけの理由で就職できなかったり、とても子育てしにくい環境だったこと。現在の就職先には、三つ子ということを伏せて、面接にいき採用された。しかし、とても嘘をつきとおすことはいやだったので、支店長に本当のことを話したら、「いいことじゃないか。がんばってくれ」との返事でもうれしかった。ご主人は、単身赴任中で今は、平山さんの実家で子育て中。

4人の子育て中のお母さん、伊藤さんは子育てしながら「自分が子育てしていくにはどういう環境であつたらいいかを考えて託児室付のカルチャースクールを始めました。」と、そのなかでもいろんな問題が発生するけど、その問題解決に向けて、また勉強していつている『自分は子供がいるからとあきらめないでほしい。子育てしやすい環境作りは自分でつくっていくもの』というたくましい話をきかせてもらいました。

お二人に共通することは、前向きに自分で道を切り開いていく事の大事さと、周りの協力により、自分の子育ても受け入れられているという事。島原の街の中でここが困るなど問題があったときは、あきらめないで声にだして言うことが大切でそれこそが、皆でつくる街づくりだと思います。

シンポジウム終了後、フルートとピアノのアンサンブル演奏。

皆の好きな『となりのトトロメドレー』など、生の演奏に参加者もうっとりでした。

今回は、お父さん方の参加も多く、子育ては母親だけの仕事ではなく、父親も一緒になって、参加することが大切だということを感じました。



● 会場では男女とも和気あいあいいろいろな意見が出されました



● 女性からのいろいろな意見が出て



● お父さんも負けていません



● 盲導犬も乱入?



第2部 コンサート

高齢者向け住宅改造見学会

Y邸の場合

日時／平成12年10月28日・29日
PM1:30~PM3:30
会場／島原市新建



● バリアフリーや台所の高さなど、高齢者に合わせた設計です

高齢者・身障者用モデルトイレ体験会

日時／平成12年10月28日・29日
会場／がまだす広場住宅フェア内

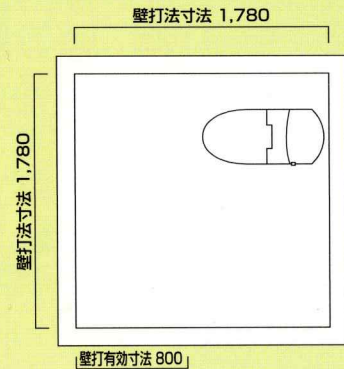
島原半島で一般的なモジュール(1間=1,910mm)の広さで、2種類のモデルトイレを製作しました。

Aタイプは、半坪タイプで、昇降介護便座を使用したトイレとしました。

Bタイプは、1坪タイプで、車椅子使用者対照のトイレとしました。

また、トイレの開口寸法は、どちらも住宅金融公庫規定の最低寸法にしています。

このモデルトイレでは、多くの方に実際体験して、広さや使用かたなどの認識をして頂き、これからの住宅などの新築や改造の参考モデルトイレとしました。



森岳地区の静かな住宅地に位置する一般住宅のYさん宅をイベント時期のみ協力戴いて、安全で安心して住める住宅を目指した『バリアフリー』をテーマの住宅を高齢者仕様改造モデルとしてオープンし、イキイキあみつ倶楽部がサポートしました。

この家の場合、すべて取壊しての新築も検討されたが、女性設計士(大貝知子氏 福岡)と話し合う中で、地元の業者(前田組)によって、従来の建物が活かされる改修が行なわれました。

さらに、裏側に広い庭があったため、そこには、和風の離れの建物と庭園を新たに増築され、併せて床上げによる広範囲の段差解消(バリアフリー化)、厨房のオール電化設備改善、老朽化部分の改修、手摺設置と合併浄化槽設置(トイレ水洗化)、ペット対応などの高齢者対応の気配りのある設計・施工がなされた施主・設計・施工がうまく噛み合った住宅です。今後住宅の参考にされてほしいとの関係者のお話です。

青空コンサート

一中・二中合同
ブラスバンド部

日時／10月29日 PM2:00~ 会場／中央公園



毎年、実施させていただいております、第一中学校・第二中学校吹奏楽部合同の野外コンサートも、今年で第6回を迎えることとなりました。今回は、これまでの「たそがれコンサート」という名称から、野外コンサートらしく「青空コンサート」と名称を改めました。両校の吹奏楽部は、それぞれの学校の文化部を代表する部として、毎日熱心に練習を続けています。こうした生徒たちの姿を市民の皆様にもぜひ見て頂きたい、との趣旨で開催いたします。また、日頃より子供たちの健全育成にご努力されている島原市青少年健全育成会や教育委員会のご後援もお願いできればと思っております。今後、この「青空コンサート」が地域に根つき、文化の素地作りや青少年の健全育成に役立つことを願い、第6回「青空コンサート」を計画いたしました。また、今回は、「ながさき安全・安心まちづくりネットワーク」の取り組みへも参加させていただくことになり、地域への密着度をさらに深めていきたいと思っております。



音の
水清く
心安全
清き調
べかな
ひ色
とは
安
穩
の
地
島
原
の
と
し



夜なべ談義
10月28日
PM 8:00~
しまばら湧水館



ここでは工学院大学助教授後藤治氏・三沢建築写真事務所三沢博昭氏を囲んで、「歴史的建造物を活かしたまちづくり」・「文化財登録制度」等をテーマに島原づくりについて、森岳地区・霊丘地区だけでなく、白土地区・南島原駅、又周辺の港・門内地区の農家・安中地区・杉谷地区など市内のあちこちで、まちづくりが活発に動き出し、競争すれば、自慢できるふるさとになるであろうなど議論が盛り上がりました。

参加者も東京都・山口県・熊本市・長崎市など学識経験者・地域プランナー・文化財保存専門家・設計事務所・建築士・マスコミ関係者など、遠方は新潟県長岡造形大学のガマダス島原街並調査団数名と地元の県・市・まちづくりメンバーで熱い議論がなされ、よりよい島原を目指して、まちづくりの新たな展開が期待できそうな勢いで有意義な一夜を過ごせました。

夜なべ談義
10月28日
PM 8:00~
速魚川ギャラリー



猪原金物店の店主の「水」へのこだわりで2年前に生まれたこのギャラリーは「湧水の活用例」の典型。「水」をテーマにした話は「まちづくり」に進み、夜遅くまで話が尽きませんでした。

夜なべ談義
10月28日
PM8:00~
青い理髪館



このたびのネットワークのイベントは「人」の集う企画でしたので、当然そこには「人と人とのつながり」が生まれます。実行委員会では、人の集まりそうな場所に看板を立てるだけのことでしたが、案の定（雨にも関わらず）、そこには「新たな出会い」があったようです。

九州エコサミットのパネラーを招いての夜鍋談義。エコは商店街(まち)の活性化の起爆剤たりうるか? 真剣な議論が飛び交いました。まちづくりの切り口は、いろいろありますが、まず環境から変えていこう、そして住む人にやさしい街づくりこそ、他方から来た人にもステキな街に感じられるのでは。

夜なべ談義
10月28日
PM8:00~
絃燈舎



いろいろを囲んで和気あいあいの小さな空間で、話は宇宙的拡がりを見せました。一般市民も街づくりのメンバーも、行政マンも、マスコミも一緒になって自分達の地域をいかに住みやすく、多くの方々に訪ねてもらえる街にするか、各々の思いをぶつけ合いました。結論はありませんが、後は一人ひとりが自分でアクションを起こすのみ。大金をかけて街全体を変えるのではなく、一軒一軒の自分の行動こそ、やがては調和のとれた街づくりにつながるのでは……

住まいづくりフェア

GAMADASU まちづくり

「やさしさをつなげる人とまち」

開催日

10/28(土) ▶ 29(日)

● 10:00~17:00

会場

★ ガマダス広場駐車場
(国光屋跡地)
★ 島原アーケード商店街

本格的な高齢者社会を間近に控え、高齢者や障害のある方に配慮した「家」、「まち」のあるべき姿を市民と一緒に考える「やさしさをつなげる人とまち」をメインテーマにした、盛りだくさんの住宅関連イベント。

棟上げ用もちつき、不知火太鼓に始まり、ステージではJAZZ・マンドリンコンサート、丸太切り・釘打ち大会、クイズ・早飲み競争と進む。

広場では各種住宅関連展示コーナー、工作教室、半島全域の幼稚園児による「すみたい いえ」絵画コンクール、もちろんフェア恒例の包丁研ぎ・まないた削りも健在、協力団体の奥様・お嬢様方による「がまだす亭」も大繁盛。今年は商店街青年部による3on3バスケットも登場、圧巻は、7.5坪の棟上げ式と餅まき、最後に家1棟プレゼントを含む大抽選会で来年の住宅フェアへ期待を繋げた。



● 得意・不得意ありまして必死です



● ステージにも華がある



● 昔とったキネづか?さすがに慣れた手つきです

10/28(土)

- オープニングイベント 「不知火太鼓」
- JAZZコンサート
- 乱舞龍
- お楽しみ抽選会
- 餅まき・棟上げ式

10/29(日)

- 阿波踊り
- プラスバンド演奏
- マンドリンコンサート
- 加藤バレエ団演奏
- 特別企画「大抽選会」
- 三代職人表彰

各種イベント◆10月28日・29日

- プロの大工さん直伝「工作教室」(本立て、スノコ)
- 知って得する「地震体験車」
- これから家を建てたい人、必見「住宅パネル展」
- 島原半島全域の幼稚園児による「すみたい いえ」
「おえかきコンクール」
- いろいろ作るよ「バルーンメイキング」(風船芸)
- 協賛団体による「各種出展コーナー」も充実
- 住宅フェア恒例「包丁研ぎ&まないた削り」も健在
〈他にもいろいろイベントがあるよ!!〉
- 丸太切り・釘打ち大会 ● 住宅クイズ ● 住宅相談
- もちつき ● 金魚すくい ● ビンゴゲーム
- ラムネ・ビール・ヤクルト早飲み大会
- ストリートパフォーマンス ● スタンプラリー
- 3 on 3バスケット大会 他



● 今は女性だって大工さんになれます



● プロとは言え、あっという間に建てちゃいます



● JAZZの演奏だってやっちゃいます



● 住宅のことなら何でも相談下さい



● 子供たちの絵には夢も希望も、あふれんばかり

「家」の応募については、29日12:00迄の受付とします

今年もでっかくプレゼント!

家1棟(約20㎡の軸組)

〈注意〉建築基準法等関連法令の規制がかかりますので応募者については、建設予定地等をふまえ予め資格審査を致します。詳しくは、当日受付にてお知らせします。

まな板100枚(いちようの木だそ!)



● 夜なべ談義で住まいづくりに議論伯仲?

● みんな楽しく日曜大工さん

ギネス大会スペシャル チャレラン大会

日時 / 平成12年10月28日 AM10:00~
会場 / 一番街マルセイ2階



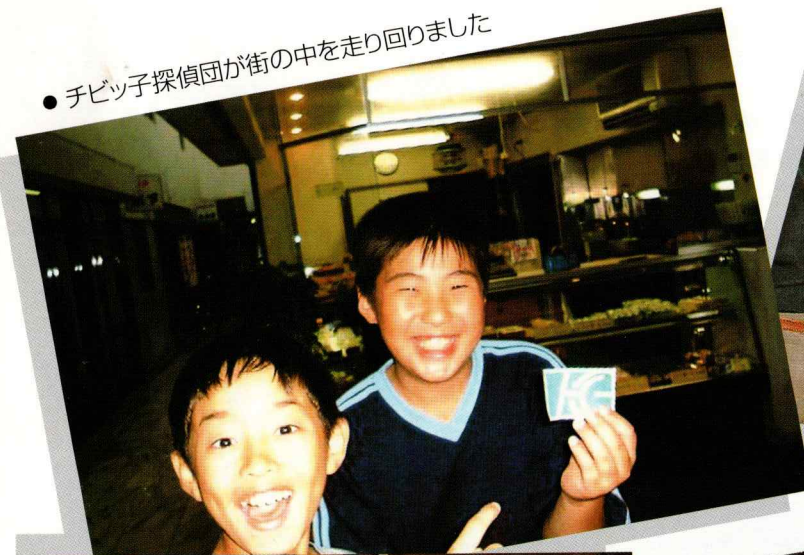
●各々の賞を獲得して全員で記念撮影

今回の競技

- ペーパーまきまき トイレtpペーパーを何秒で全部巻き取りかを競います。
- 割り箸ダーツ 1分間で何本ペットボトルに割りばしを入れられるかを競います。
- 一番街探偵団 1枚の写真を手がかりにその写真に写っているお店を一番街の中から何件探せるかを競います。

●チビッ子探偵団が街の中を走り回りました

●あの...この写真に見覚えはありますか?



笑顔が街の
元氣です



ガレージセール イン みなとみち

日時 / 平成12年10月29日 AM10:00~PM3:00
会場 / 音無川会館(旧OKホームセンター跡)



●もうちょっと負けんネ! そがん言わんでん、たいてにや安かとヨ!

●なんでも売っちゃいます

出店内容さらにパワーアップますます充実

商店街頑張れ

オープニング
島原商業高校
ブラスバンド
出演

出店30店
掘り出し物
ぞうご期待

ミシン糸大放
無料提供

HOME MADE

オリジナルクッキー
先着200名様進呈

栄町子供会 湊道子供会
も出店するヨ

ビデオテープ 超安値



●写真展とお茶席のハーモニー
●3 on 3 (住宅フェア会場)



●絃燈舎では、野の花展と同時に二人展が開催されました



●チンドン屋も試してみよう! 邸



●木八車で野の花の移動展示



●海田の舞に飾られました



●海田の舞に飾られました

スナップ 写真 (各会場)



●しまばら湧水館は水で一杯?



●幼稚園にも乱入?



●湧水館のお茶席



●お母さんの体験談には会場も皆うなずくことばかりでした

●ボランティア大会の視察では被災地の復興状況説明



●お母さんの体験談には会場も皆うなずくことばかりでした



●モチまきに我を忘れて.....



●高校生のプラスバンドも住宅フェアを盛り上げました



●おじさんたちも盛りだ



●沢山のお客さんが来場した住宅フェア



●一気飲みといってもお酒じゃないヨ!



●酒蔵の野の花展



●吉川邸の野の花展

●森岳商店街には「ケナフ」があちこちに植えられています

三つの企画が融け合い

醸し出す見事なハーモニー

島原の石と建物と自然と

◇町並みの美を再発見・再創造◇



普段は風景な島原の秋の... 建築物と石の彫刻を組み合わせ...

野の花展は、それぞれ... センを伝えている...

イベント紹介記事

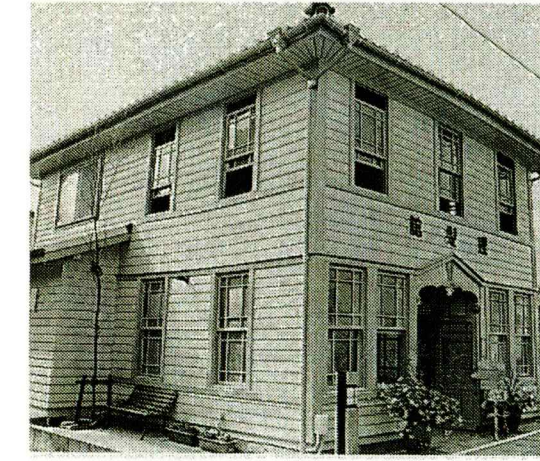
安心して住める街に

12.10.29
バリアフリーなどテーマ
「一ネットワークin島原」
イベント多彩に開幕

【島原】バリアフリーや環境保全などの視点で講演会や集会、展示など多彩なイベントを展開する「ながさき安全・安心まちづくりネットワークin島原」が二十八日、島原市内で始まった。二十九日まで。

島原新聞 第三種認可郵便物・島原鉄道特別取扱承認第一号

レトロ建築 島原の商店街が保存・活用



生まれ変わった「青い理髪館」

「青い理髪館」28日オープン

島原市の古い町並みを残す... 理髪館は1923年に建てられた大正ロマンを伝える...

親子三代職人の表彰も

ガマダスマちづくり・住宅フェア
伊藤板金の茂・忠義・謙哉さん

毎年十月の住宅月間... 伊藤板金の茂・忠義・謙哉さん... 親子三代職人の表彰も...

障害者に配慮されているか

盲導犬12匹が大行進
まちづくりをチェック

障害者に配慮されたまちづくりがなされているか... 盲導犬12匹が大行進...



盲導犬と島原市を歩く参加者

普段からの備えが必要

ネットワークづくりを推進

力強く「島原宣言」

◇第一回災害救援ボランティア全国大会◇



【福原】震災がいつか... 全国ネットワークの矢野正広氏(熊本県)...

安心してできる街づくり

講演会や写真展始まる

【島原】地方小都市の住みよ... 安心してできる街づくり... 講演会や写真展始まる...



水と歴史的木造建築物... 野の花展・茶席Ⅱ写真Ⅱがあり、終わった。

作法知らずですが... 野の花展のレポート... 二十八日から...

しまばら観光福祉マップ

安心して島原の街を歩いていただくための一歩です

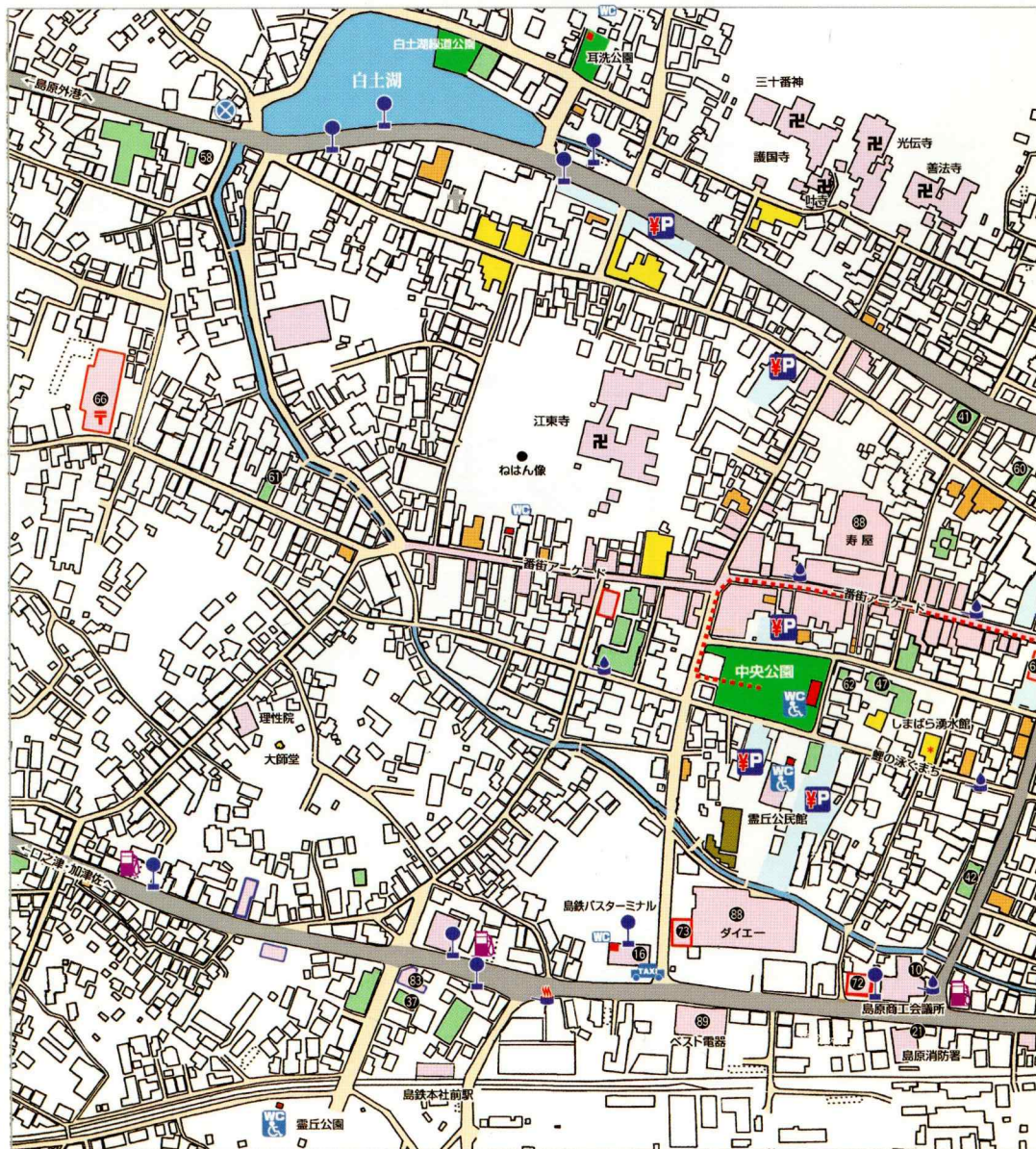
福祉マップの一部です

噴火災害からの復興が進む島原の中心市街地で障害者への配慮がどのように行われているでしょうか。この観光福祉マップは、車イスの利用者や白ステッキの視覚障害者、盲導犬を使用される盲人の方達がボランティアの方や地元学生と一緒に、それぞれの視点で検証する為の手助けとしてイキイキあみつ倶楽部・ガイアの会・長崎総合科学大学鯨島研究室の協力を得て作成されました。そして、噴火十周年記念事業の一環として並行して企画されました『盲導犬と歩こう島原』でさっそく配布されました。従来の福祉マップの要素の車イスで利用できる公衆便所や音声信号の他に、各施設にどのよ

島原市内主要施設のバリアフリー状況

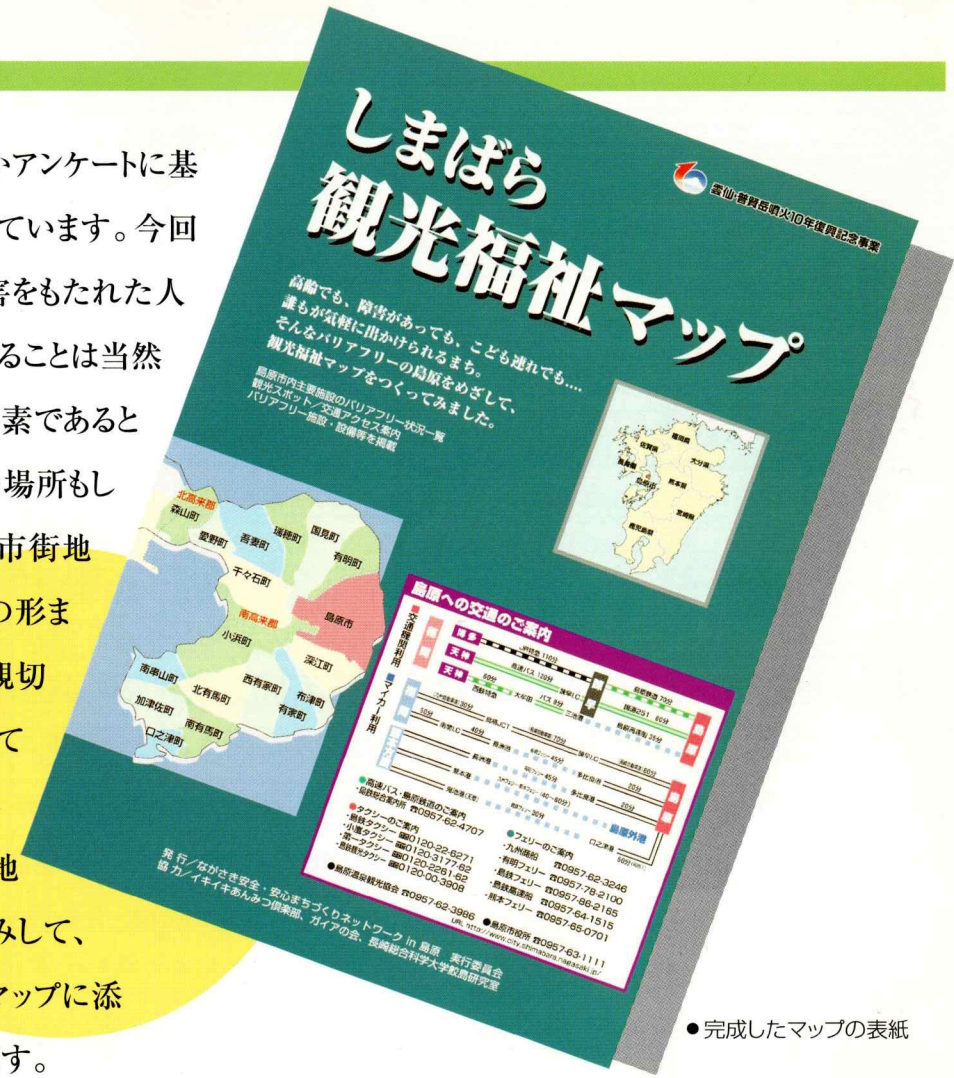
マークの説明	マーク
一般 車イス 障害者 スロープ 自動ドア 手すり 点字 点字エレベーター	
車イス エスカレーター トイレ 車イス 車イス 車イス	
車イス 客室 スロープ 受入可	

官公庁およびその施設	住所	マーク
島原市役所	63-1111	
島原警察署	63-0111	
長崎地方裁判所	62-2513	
建設省雲仙復興工事事務所	64-4171	
島原労働基準監督署	62-5145	
杉谷公民館	63-2231	
農村環境改善センター	62-7370	
安中公民館	63-2253	
島原商工会議所	62-1101	
九州電力島原営業所	62-5256	
島原駅	62-4705	
南島原駅	62-4706	
島原外港駅	63-1980	
島原外港ターミナル	64-2234	
島原バスターミナル	62-4707	
島原商業高等学校	62-4059	
島原高等学校	62-4155	
島原商業高等学校	62-5125	
島原警察署	64-0110	
島原消防署	62-7711	
島原図書館	64-4115	
島原城内施設	62-4766	
島原市体育館	63-2206	
れいなん会館	62-7477	
島原復興アリーナ	64-2344	



※今回の調査はアンケートの回答をもとに作成しましたので、調査もれのところ、調査後に改善されたところもあるかと思ひます。ご了承下さい。

うな福祉面での配慮がされているかアンケートに基づいて調査された結果も明記されています。今回の福祉マップの特徴としては、障害をもたれた人が目的地に行く際の障害を排除することは当然のことですが、目的地である観光要素であるか日常生活に必要な施設などの場所もしっかり載せてあります。特に、中心市街地や森岳地区周辺については建物の形まで記入されており、島原の人達は親切な方が多いので気軽に訪ね歩いて欲しいとの制作者の願いが伺われます。まだまだ改善の余地が多い地図ですが、それぞれの方が書き込みして、自分の地図にされて従来の観光マップに添えてお渡しくださいませと思っております。



●完成したマップの表紙

パネル展

■日時/10月28日・29日
■会場/島原文化会館 大ホールロビー

メイン会場となった文化会館ロビーでは、各団体の紹介パネル展を行ないました。

- パネル参加団体
- ながさき安全・安心まちづくりネットワーク
 - ・イキイキあみつ倶楽部・ガイアの会・マザーズ本舗
 - ・鯉の泳ぐまち研究会・フィル島原フラタニテ
 - ・げんごろう倶楽部・建設省 雲仙復興工事事務所
 - ・島原市・長崎県・佐世保アクセスポイント
 - ・長崎アクセスポイント・島原ボランティア協議会
 - その他
 - ・有珠山噴火災害写真
 - ・東海豪雨災害写真



●受付では郡司ななえ氏の「ベルナのしっぽ」の本も沢山求めていただきました。

まとめ

復興島原から安全・安心まちづくりへの協働を情報発信

「ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原を終えて」



長崎総合科学大学
助教授 鮫島和夫

10月28日・29日の両日、48時間をフルに使い、島原のまちの此処彼処を舞台に「ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原」が開催されました。安全・安心・まちづくりをキーワードに、全国と島原が交流し、島原市民どおしあるいは市民の多様な運動やイベントがつながりあったことが特筆されます。

全国災害救援ボランティア全国大会は、災害救援ボランティア活動のネットワークを確立し、災害大国日本における安全問題の所在と行動方向を全国に発信し

ました。郡司ななえ氏の記念講演と「盲導犬と歩こう島原」の取り組みは、物心両面のバリアフリーのまちづくりを市民に強く訴え、『安全・安心のまち島原』への一步を踏み出させたのではないのでしょうか。九州エコ・サミットはエコ・ステーションの試験的設置を契機とした商店街の活性化や市民の環境意識の変化など、興味深い話題を提供しました。

森岳商店街を舞台に繰り広げられた森岳青空文化祭、青い理髪館オープンや野の花展等は、ヒト・モノ・コトの複合的な紡ぎあいが生み出す魅力と心地よさ、森岳まちづくりの成熟を感じさせました。みなとみち商店街ガレッジセールやギネス大会スペシャル(一番街アーケード)などへの拡がり、今後の展開を期待させます。

湧水トレイルや湧水散策路原画展、島原駅での湧水と歴史的木造建築物写真展は、改めてこのまちの豊かな資源とそこに息づいた文化の重みを確認させてくれました。後藤 治氏の講演では歴史的な資産を活かすまちづくりの方向性の指針を頂きました。子供とまちづくりシンポジウムや中央公園での青空コンサート等では、小・中学生や高校生など次代のまちの担い手との交流も深まりました。GAMADASまちづくり住まいづくりフェアや市民の好意による高齢者住宅改造見学会など住まいづくりへの関心も高めました。

島原おなじみの「まちは夜つくられる」夜なべ談義も4箇所で盛り上がりました。パンフレットやイベントガイドマップ、観光福祉マップなどそれだけでも魅力的な素晴らしいものが発行され、報道も丹念に行っていました。まち中が会場、みんなが主役、実行委員会構成の諸団体と市民や参加者のコラボレーションで、見事にイベントは成功を取めたのではないのでしょうか。島原の市民運動・活動、民間と行政の協力などその底力を示したのではないかと思います。一過性のイベントに終わせず、実行委員会構成の諸団体と市民のコラボレーションで、安全・安心の復興島原のまちづくりを実のらせることを願ってやみません。

ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原 参加団体

団体名	代表者名	住所	TEL
島原アクセスポイント	北村正保	島原市堀町199 グラス内	63-6615
長崎アクセスポイント	平野啓子	長崎市愛宕3丁目4-23	095-821-7718
佐世保アクセスポイント	川上 順	佐世保市天神町1894-4	0956-33-8601
森岳まちづくりの会	小川泰一	島原市上の町903	63-2933
げんごろう倶楽部	吉田耕三	島原市宮の町692(山村方)	63-2845
島原ボランティア協議会	宮本秀利	島原市新湊2丁目2537-1	62-6014
マザーズ本舗	尾崎歌子	島原市西八幡町8390-7 雲仙ビル2F	62-0266
ガイアの会	吉田芳雄	島原市下折橋町4636-14	63-5507
鯉の泳ぐまち研究会	西田正剛	島原市新町2-267	62-6580
島原中心市街地まちづくり推進協議会	古瀬 亨	島原市高島2丁目7217(商工会議所内)	62-2101
イキイキあんみつ倶楽部	旭 芳郎	島原市片町542(メディア長崎内)	64-0235
土と文化の会	宮崎和子	島原市中町792	62-2659
島原更正保護婦人会	谷口三矢	島原市新湊丁目1748-23	63-1691
フィル島原 フラタニテ	中島良平	島原市城内一丁目1186	62-3675
建築士会 島原支部	本田金重	島原市片町542	64-2798
森岳商店街	光永健一	島原市上の町871	62-2291
湊道商店街	佐藤英昭	島原市湊道2丁目7502	62-3965
島原一番街	古瀬 亨	島原市中堀町34番5号	62-2503
島原商工会議所	森本元成	島原市高島2丁目7217	62-2101
長崎県住宅・建築総合センター	澤井英一	長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル	095-825-6944
島原市	吉岡庭二郎	島原市上の町537	63-1111
長崎県島原振興局	南里雅彦	島原市城内1丁目1205	63-5599
長崎県 土木部 住宅課	左海冬彦	長崎市江戸町2番13号	095-822-5178
建設省 雲仙復興工事事務所	古賀省三	島原市南下川尻町7-4	64-4171
長崎総合科学大学 建築学科	鮫島和夫	長崎市網場536	095-838-4118

ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原実行委員会 名簿

実行委員長：宮崎 和子(土地と文化の会)	委員：谷口 三矢(島原更正保護婦人会)
副委員長：北村 正保(ネットワーク島原アクセスポイント)	委員：西田 正剛(鯉の泳ぐまち研究会)
副委員長：松坂 昌森(森岳まちづくりの会)	委員：野澤 正雄(イキイキあんみつ倶楽部事務局)
副委員長：山村 和秀(げんごろう倶楽部)	委員：林田 誠治(島原市・建設課長)
顧問：鮫島 和夫(長崎総科大・建築学科助教授、あんみつ倶楽部)	委員：尾崎 歌子(マザーズ本舗)
委員：旭 芳郎(NPO島原ボランティア協議会)	委員：平野 啓子(長崎アクセスポイント)
委員：小川 泰一(森岳まちづくりの会)	委員：村上 博(雲仙復興工事事務所調査課長)
委員：川上 順(佐世保アクセスポイント)	委員：森脇 久夫(建築士会島原支部青年部長)
委員：熊本 勇治(建築士会島原支部、常務理事)	委員：矢部 文俊(島原振興局・建築課長)
委員：古瀬 亨(中心市街地まちづくり推進協議会)	委員：吉田 耕三(げんごろう倶楽部)
委員：左海 冬彦(土木部・住宅課長)	委員：吉田 芳雄(ガイアの会)
委員：島崎 功(島原市・都市整備課長)	事務局：土木部住宅課・島原振興局(建築課)
委員：末永 節夫(商工会議所、中心市街地推進協議会事務局)	事務局：島原市(建設課・都市整備課)、島原商工会議所



GAMADAS SHIMABARA

■ 編集／ながさき安全・安心まちづくりネットワーク in 島原実行委員会